

長期優良住宅の「お得度」シミュレーション

前提条件

- ▼借入額:3000万円
- ▼通常金利:3%、元利均等払い
- ▼借入期間:30年
- ▼年収:800万円 扶養家族3人
※年収は10年間変わらないとする

1 住宅ローンの返済額シミュレーション

- 一般住宅の場合
総返済額45,533,001円(うち利息分、15,533,001円)
- 長期優良住宅とし「フラット35S」20年間0.3%優遇を使った場合
総返済額44,015,828円(うち利息分、14,015,828円)

返済額のお得度1,517,173円

2 住宅ローン減税の控除額シミュレーション

- 一般住宅の場合(=控除率1%×10年間)
控除額2,621,600円
- 長期優良住宅の場合(=控除率1.2%×10年間)
控除額3,127,400円

控除額のお得度505,800円

ここまでのお得度整理

- 返済額のお得度1,517,173円+控除額のお得度505,800円
- 認定申請にかかるコスト10万円(仮定)
- =長期優良住宅のお得額1,922,973円

3 補助金を活用した場合のシミュレーション

- 長期優良住宅普及促進制度を活用した場合 1,000,000円を補助
長期優良住宅のお得額1,922,973円+補助金1,000,000円

お得度2,922,973円

- 長期優良住宅先導的モデル事業に採択された場合 2,000,000円を補助
長期優良住宅のお得額1,922,973円+補助金2,000,000円

お得度3,922,973円

4 その他の「お得」の可能性

地震保険の優遇、瑕疵担保責任保険の優遇料金なども